

#### 4-4. 納期目安情報連携サービス

##### (1) 背景

1991年にR-VANの運用を開始して、リアルタイムで在庫照会が可能となりましたが、R-VANはホストサーバとの接続が必要であり、メーカー、流通企業ともにシステム開発が必要となっています。

また、R-VAN利用企業であっても、R-VANで在庫照会ができない商品に関しては、店頭販売員が店舗裏に戻り納期表やメーカーへの電話にて納期を確認していたためサービス性の向上が求められていました。

加えてメーカーは店舗への納期表の配布、流通企業は各メーカーから受領した納期表の収集・自社システムへの取込に工数が必要でした。

##### (2) 経過

こうした課題を解決するために、主に以下の点を考慮し新しいシステムの検討を2013年より開始しました。

- [1] 低コストで簡単に流通企業、メーカーが利用できる
- [2] 連携先流通企業に依存しない統一フォーマット、かつ、流通企業の個別要件に応えられるフォーマット

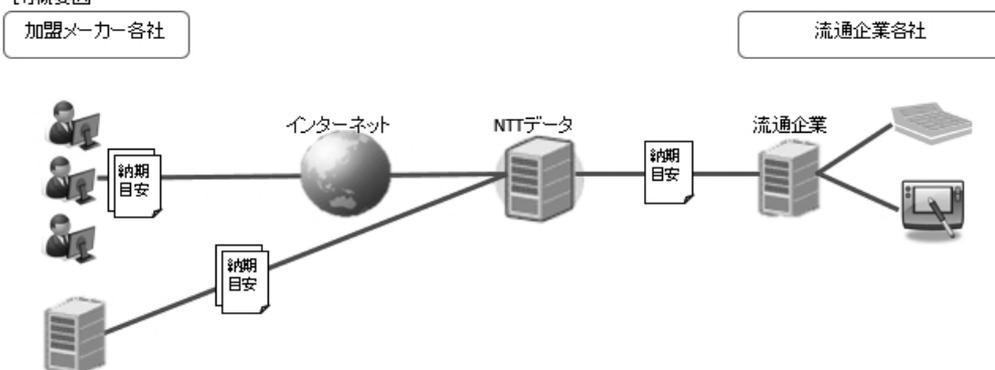
こうして、R-VAN加盟メーカーの企画のもと、(株)NTTデータと共同で設計・開発を行い、2016年より順次加盟メーカーによる共同運用を開始しました。

##### (3) 概要

メーカー各社の納期目安情報を集約し、日次または週次で流通企業向けファイルフォーマットへ変換し、流通企業ホストへのファイル連携やWeb画面からのファイルダウンロードを可能とします。

ネットワークは既存のインターネット接続環境とし、Webブラウザからアクセスするだけで、納期目安情報の連携が可能で、また、ホストコンピュータ間の接続をすることも可能で、その場合は自動で納期目安情報の連携が可能となります。

##### [1]概要図



##### [2]費用負担

	費用項目	流通企業	メーカー
初期	共通取引先コード取得料	○	
ランニング	流通企業側情報処理費・機器費用	○	
	VAN回線料(流通企業→VAN会社)	△	
	VAN回線料(VAN会社→メーカー)		△
	通信回線料(流通企業→wwwサーバー)	△	
	通信回線料(wwwサーバー→メーカー)		△
	メーカー側情報処理費用・機器費用		○
	納期目安情報連携サービス利用料	○	○

※1 ホストサーバ間の接続を行う場合のみ費用発生

※2 インターネット経由の接続の場合のみ費用発生

##### [3]サービス導入効果の狙い

###### 流通企業

- ・店頭で納期目安情報を確認できるようになるため、問合せ工数削減による接客効率の向上が可能となります。
- ・納期目安情報がわかる商品が増えることによる販売機会ロスの削減に繋がります。
- ・全加盟メーカーの納期目安情報が統一されたフォーマットで連携するため、自社システムへの取込が容易となります。

###### メーカー

- ・流通企業からの納期目安に関する問合せ数削減による対応工数削減が可能となります。
- ・店頭へ紙の納期目安情報配布を廃止することで工数削減や環境保護(ペーパーレス)が可能となります。
- ・業界標準フォーマットを利用しているため流通企業ごとにフォーマットを修正する必要が無く作業の効率化が可能となります。
- ・流通企業によらず統一したオペレーションで納期目安情報を流通企業へ連携することが可能となります。

納期目安情報連携サービスを導入したことで、メーカーの総受電件数の減少効果が得られています。

インターネット環境で利用可能なため容易に利用することができ、メーカー側は現行の運用オペレーションを大きく変えることなく利用することが可能です。

今後は、流通企業・メーカーの更なるサービス導入効果拡大の検討を行い、より多くの流通企業・メーカーの利用を促進していきたいと考えております。

標準化内容につきましては、『納期目安情報連携サービス標準化内容』を参照ください。

尚、詳細につきましては、TC-NET協議会事務局までお問い合わせください。

納期目安情報連携サービスのお問合せ先  
 TC-NET協議会事務局  
 〒135-8671  
 所在地：東京都江東区豊洲3-3-9 豊洲センタービルアネックス32F  
 (株)NTTデータ 内